



平成24年2月17日

あきる野市で大規模な林野火災を想定した消防訓練を実施

— ヘリコプターを活用した人員及び資器材の先行投入を実施 —

大規模な林野火災発生時における林野火災消防活動要領及び方面応援隊の運用要領を演練するため、あきる野市内の山林において「ハイカーによる火の不始末により火災が発生し、山林部分に延焼拡大した。」との想定で、近隣の消防部隊、消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー）及び都内各方面の消防署から招集された方面応援隊による活動が繰り広げられるほか、当庁の大型ヘリコプター2機を活用した人員・資器材の先行投入及び空中消火、中型ヘリコプターによる上空指揮、広域航空応援協定に基づき埼玉・栃木・群馬から出場するヘリコプター3機による空中消火など、消防車両など87隊、消防職員など490名が参加する大規模な林野火災訓練を実施いたします。

記

1 実施日時

平成24年2月24日（金） 9時30分から11時00分まで

2 実施場所

あきる野市上代継600番地 東京サマーランド敷地内
（別図1参照）

3 統裁者等

(1) 統裁者

第九消防方面本部長 徳留 壽一（とくどめ としかず）

(2) 指揮者

秋川消防署長 古河 大直（ふるかわ ひろなお）

4 参加人員等

(1) 参加人員 490名

（内訳：消防職員 460名、消防団員 30名）

(2) 参加車両等 87隊（ヘリ6機含む）

内訳：東京消防庁

指揮隊車、ポンプ車、消防活動二輪車、山岳救助車、消防ヘリ、救助機動部隊
特殊車隊

消防団

ポンプ車隊等 7 隊

広域航空応援隊 3 機

埼玉県防災ヘリ、栃木県防災ヘリ、群馬県防災ヘリ

5 参加関係機関

あきる野市消防団、日の出町消防団、檜原村消防団

6 訓練の想定

ハイカーによる火の不始末により火災が発生し、山林部分に延焼拡大した。

この災害に伴い、警防本部は、部隊の増強及び長時間活動の後方支援が必要であると判断し、方面応援隊の出場準備を予告指令し、秋川消防署長からの応援要請を受け、方面応援隊及び後方支援隊の出場を決定した。

7 訓練の重点項目（別図2「活動図」参照）

- (1) ヘリコプターを活用した人員、資器材投入
- (2) 遠距離大量送水装備の活用
- (3) 指揮本部運営
- (4) 山間地における消火活動
- (5) 方面応援隊運用
- (6) 消防団との連携
- (7) 広域応援に伴う防災ヘリ活用

8 訓練進行概要

実施時間	進行内容
9:30	訓練開始・火災発生・出場指令
9:33	延焼中・航空隊特命指令
9:35	第二出場要請（秋川大隊長）
9:41	方面応援隊応援要請（秋川署隊長）
9:55	方面隊長到着（第三指揮体制）
10:03～	ヘリによる空中消火（4回）
11:00	一斉放水（空中消火含む）・訓練終了
11:15～	講評

9 取材にあたっての注意事項

- (1) 受付は別図3に示す「レクチャー場所」（テーブルとベンチの付近）で8時00分から行います。
- (2) 事前レクチャーを9時00分から行います。前(1)の場所にお集まりください。
- (3) 駐車場は、別図3に示す「報道関係者駐車場」をご利用ください。
なお、荷物等がある場合は、お車で前(1)の場所まで搬送していただき、その後、お車を係員駐車場にお入れください。
- (4) 取材の際は、自社腕章を必ず着用してください。
- (5) 訓練会場内では、係員の指示に従い事故防止に十分注意してください。

10 その他

降雪等悪天候などにより訓練を中止する場合は、当日午前6時00分に決定します。取材を希望される社は、広報課報道係までお問合せください。

問合せ先

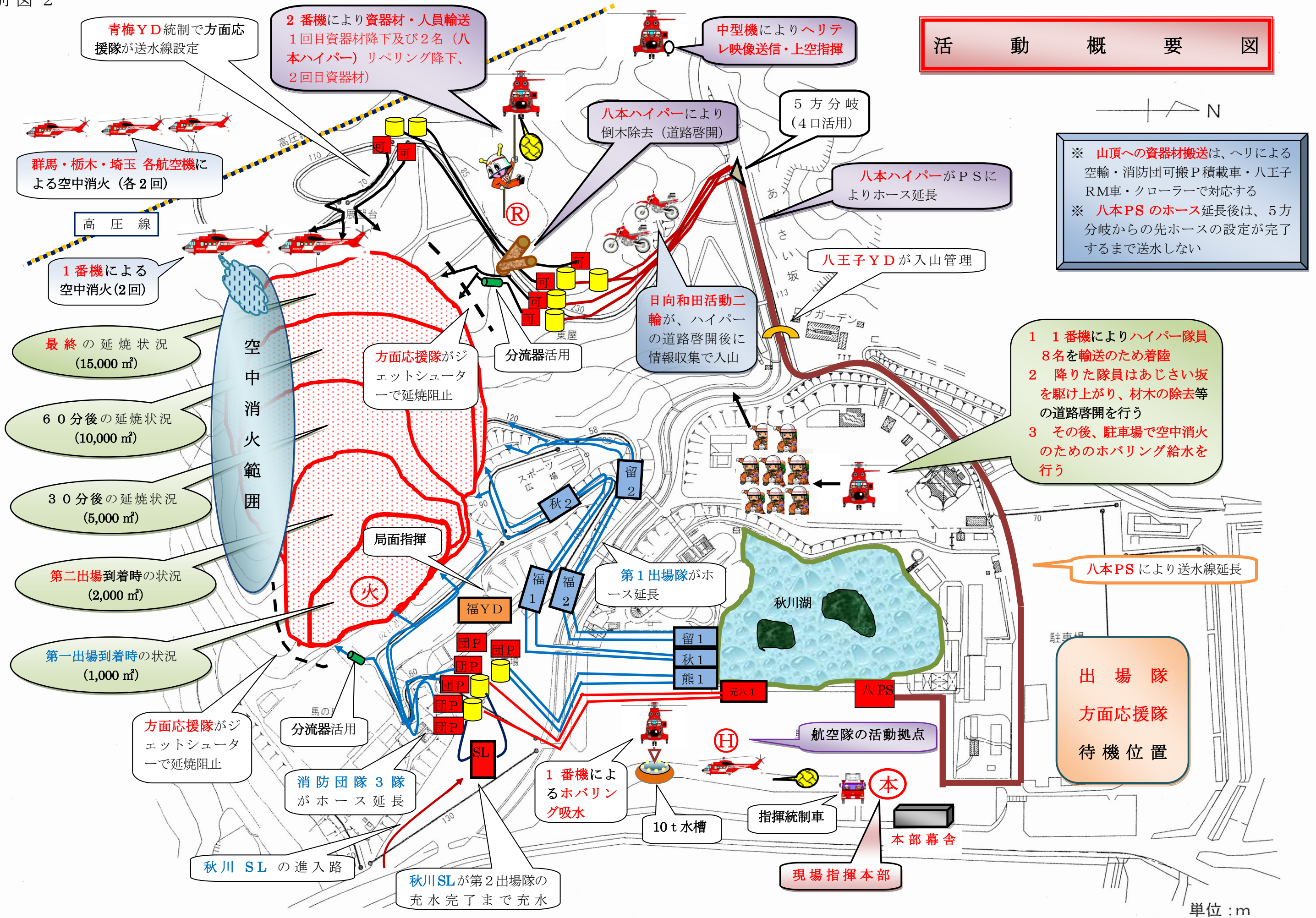
（東京消防庁代）	電話	3212-2111
（広報課報道係）	内線	2345～2350

別図1

案内図



活動概要図



青梅YD統制で方面応援隊が送水線設定

2番機により資器材・人員輸送
1回目資器材降下及び2名(八本ハイパー)リペリング降下、
2回目資器材)

中型機によりヘリテレ映像送信・上空指揮

八本ハイパーにより倒木除去(道路啓開)

5方分岐(4口活用)

群馬・栃木・埼玉各航空機による空中消火(各2回)

八本ハイパーがPSによりホース延長

高圧線

1番機による空中消火(2回)

八王子YDが入山管理

最終の延焼状況(15,000㎡)

方面応援隊がジェットシューターで延焼阻止

日向和田活動二輪が、ハイパーの道路啓開後に情報収集で入山

60分後の延焼状況(10,000㎡)

分流器活用

1 1番機によりハイパー隊員8名を輸送のため着陸
2 降りた隊員はあじさい坂を駆け上がり、材木の除去等の道路啓開を行う
3 その後、駐車場で空中消火のためのホバリング給水を行う

30分後の延焼状況(5,000㎡)

局面指揮

第1出場隊がホース延長

八本PSにより送水線延長

第二出場到着時の状況(2,000㎡)

第一出場到着時の状況(1,000㎡)

方面応援隊がジェットシューターで延焼阻止

分流器活用

航空隊の活動拠点

出場隊
方面応援隊
待機位置

消防団3隊がホース延長

1番機によるホバリング吸水

10t水槽

指揮統制車

本部幕舎

秋川SLの進入路

秋川SLが第2出場隊の充水完了まで充水

現場指揮本部

別図3

訓練現場配置図

